

「音をあらわすことば」のよみかた

名前)

つぎの(1)と(2)のちがいはどこですか。

- (1) はる子は、ドアを トントン たたきました。
- (2) あきは、ドアを ドンドン たたきました。

「トントン」や「ドンドン」は、音を あらわした ことばです。

はるさんは、ドアを かるく たたいて いる かんじが しますね。
あきは、ドアを つよく たたいて いる かんじが しますね。

おんどくする ときは、

「トントン」は、かるく、

「ドンドン」は 「ドーンドーン」と つよく、

よむと、

音の かんじが できます。

つぎの「音をあらわすことば」を、ようすが 声に あらわれ 出る ように よみましょう。

- (1) ガラスまどが カタ カタ カタと 音を出しています。
- (2) ガラスまどが ガタ ガタ ガタと 音を出しています。

- (1) ぞうさんが ドシン ドシン ドシンと あるいています。
- (2) ひよこが タタ タタ タタと あるいています。

- (1) 雨が ザー ザー ザーと ふっています。
- (2) 雨が パラ パラ パラと ふっています。

- (1) うさぎが ピョン ピョン ピョン ピョンと はねています。
- (2) うさぎが ピョーン ピョーン ピョーン ピョーンと はねています。

)

